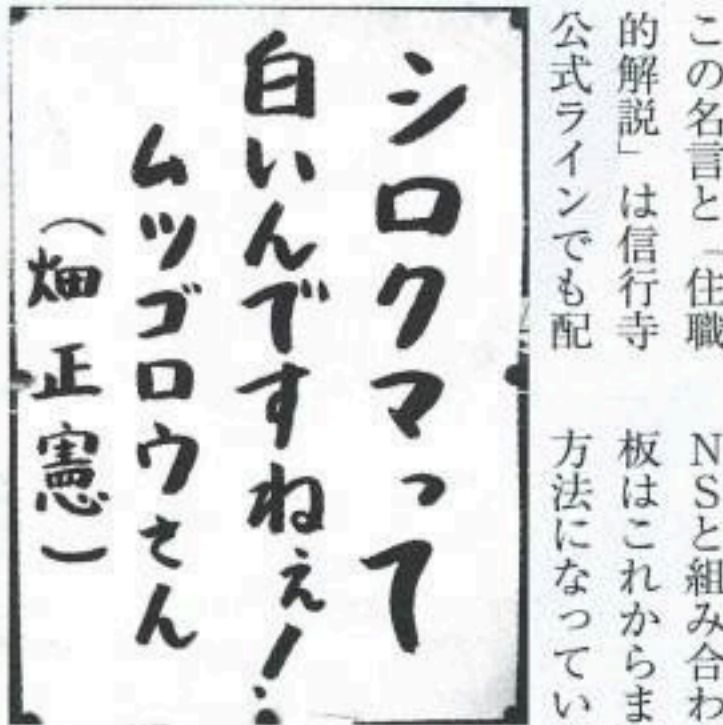
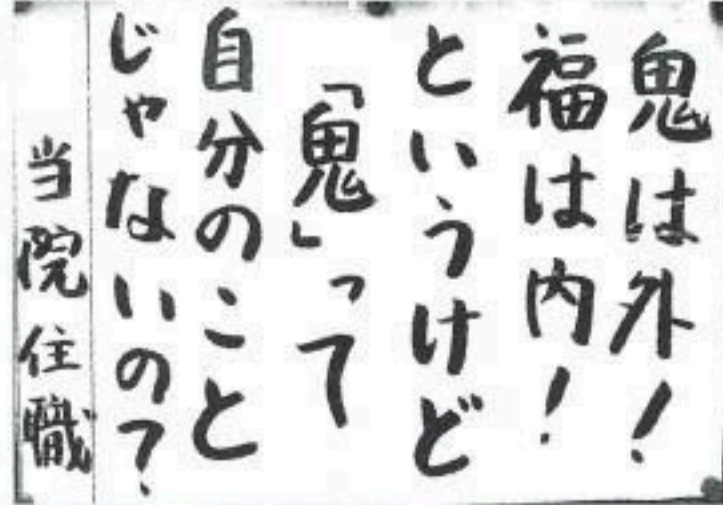
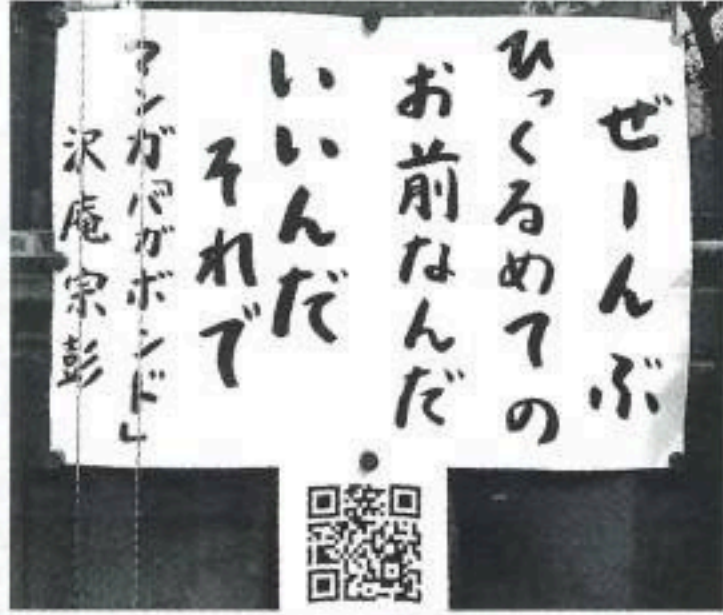


# 従来の掲示板にQRコード 住職の解説で、迷言も納得

お寺の掲示板に選りすぐりの名言を貼り出した方がいいが、せっかく読んでもらっても意図が伝わらず、かえってモヤモヤさせてしまっただけではないだろうか。そこで住職は考えた。この言葉がなぜ掲示されているかを説明すればいいじゃないかと。兵庫県西宮市の浄土真宗本願寺派信行寺では、貼り紙（写真上）のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると一千字ほどの「住職的解説」にたどり着

く。名言とその解説を毎月更新するのは四夷法顕住職（三十八歳）である。たとえば《シロクマって白いんですねえ》（写真下）という一見とぼけたような発言には、**「当たり前前にこの感動できるムツゴロウさんは素敵だ」という話から、仏教の如実知見の説明につなげ、一休さんのエピソードを挟み、ありのままに見るって案外難しい」と結ぶ。**ここまで周到な掲示板伝道はなかなかないだろう。

信すると共に、印刷した紙を掲示板の横にも置いておくと、一カ月で百五十枚近く持ち帰られるそう。だ。「読んでくれた人からは、仏教の考え方にハッとさせられたとか、月初めの更新が楽しみといった声をいただいています。掲示板がご縁となって法座にお参りされ始めた人もいますよ」と四夷住職。信行寺のこの方法を知ってしまつと、ただ貼り紙を出すだけでは物足りなく思えてきそう。だ。「たかが掲示板、されど掲示板です。門をくぐらなくても目に入る掲示板は、仏法に関心を持ってい



この名言と「住職的解説」は信行寺公式ラインでも配

ただく大きなご縁となります。S NSと組み合わせることで、掲示板はこれからますます有効な伝道方法になっていくと実感しています。「従来のやり方はそのままに最新技術でサーピスを向上させる。いつの世もお寺はこうやって人心をつかんできたのだろう。」

「たかが掲示板、されど掲示板です。門をくぐらなくても目に入る掲示板は、仏法に関心を持ってい

鬼と日本人の歴史 小山聡子著 筑摩書房 九〇二円  
日本を時代別に考察。病をもたす対象が物語の中へと移行した一方、外国人や形態異常の子を鬼と呼び差別してきた事実の注意を促す。新書判。  
とちぎの仏像 北口英雄著 随想舎 二七五〇円  
栃木県内の仏像約百軀を解説し、タとモノクロ写真を掲載する。芸芸の著者が同県の博物館などに勤務しながら調査してきた情報を一冊に編集。  
図解 はじめての日本建築 丸善出版 二二〇〇円  
国内に現存する寺院・神社・住宅の建築物を古代から現代まで順に解説。図版を用いて様式や部材の名前を説明し、建物のどこを見たらいいかを教示。  
東京23区 一利益! 参道めし くぼこまき著 WAVE出版 一五四〇円  
漫画で綴る女性二人の都内寺社巡り。信仰や歴史を学びながらもお目当ては境内や門前のグルメと土産。参詣先は浅草寺、神田明神ほか計三十八寺社。  
●価格が税込みです。  
●本欄「仏書」は小社のホームページにも掲載しています。

信行寺掲示板は住職が名言の意味をネット上で詳しく解説してくれる画期的な仕組み